



第 3477 回例会（今年度 22 回）

例会場：岡崎ニューグランドホテル

「卯年放談」当クラブ 有賀健さん・櫻井敬子さん・酒部圭司さん・相 悟さん

前回の会長挨拶

今回は杉浦恵三さんのご逝去を悼み、「幸福と死」ということで、私なりの考えを述べたいと思います。まず、当然のことなのですが、私たちは全員が早かれ遅かれ死ぬこととなります。これは疑いようも避けようもない事実です。その前提の中で、どのような人生が幸福な人生かと考えた時に、やはり死ぬ前に「私の人生は幸せだった」と言えることではないかと思えます。

さらにそのためには何が必要かと考えた時に、「あなたは自分の人生を振り返って何を一番後悔していますか」という質問に対して、日本においてもアメリカにおいてさえ、「もっとチャレンジしていればよかった」という答えが一番多いとのこと。私自身はそうした「後悔」を、できればしたくないので、なんでも思ったことにはチャレンジするようにしています。

亡くなられた心理学者の河合隼雄さんは「死のことを考えずに、生のことばかり考えると不毛になりやすい」と言ってみえます。これはたぶん「生」のことばかり考えると「利己的/享乐的になりやすい」ためではないかと思えます。またピーター・ドラッカーは「あなたは何によって憶えられたいか」という「問い」は「三年後、五年後には仕事が変わる、人生が変わる魔法の問いかけ」と言っていますが、自分が死んだあと、周りの人から「どういう人だった思われたいか」という問いは、生きる上で重要な示唆を与えてくれるのではないかと思えます。

皆さんもぜひ後悔の無い「幸福な」「WELL—BEING」な人生を送ってください。

さて、本日の卓話は佐々木様の「健康経営」のお話と中瀬さんの卓話ですが、「健康」も「幸福」にとって大切な要素です。私の尊敬する中村天風さんは「たとえ病気になったとしても心まで病ませるな」と言ってみえますが、「病気」は「気の病」と書きますように、病気になると多くの人は気力も落ちてしまうものです。また気力が落ちると免疫力も落ちて病気になりやすくなります。もちろん健康経営による「社員の健康」も大切ですが、皆さんの健康もとても大切なことですので、今後は私の知る限りの健康のヒントを「幸福」の話題と合わせてお話していきたいと思えます。

最後に年末の親睦家族例会と先週の夜間例会ではセブロータリーとの WASH3 プロジェクトに対して 20 万 3 千円のご寄付を頂戴し、目標金額を達成することができました。皆様のご協力に感謝いたします。今後、手続きを進めていきたいと思えます。

前回の卓話

「愛知県の健康経営の取組について」愛知県保健医療局健康医務部健康対策課 健康づくりグループ

課長補佐 酒井 英巳子様

「治療と仕事の両立支援の進め方」 社会保険労務士 中瀬 高子さん（岡崎 RC）

職業奉仕月間に因んで

4つのテストに照らして、南部会長の思いである社員の幸福を目指して卓話を頂きました。

前半は、愛知県保健医療局健康医務部健康対策課の酒井英巳子様より「愛知県の健康経営の取り組みについて」卓話を頂きました。健康経営のメリットと有益な利用について説明を頂きました。

後半は、当クラブ会員である中瀬高子さんより「治療と仕事の両立支援の進め方」について卓話を頂きました。病気の社員に対してどのようにして対処すればよいか分かりやすく説明して頂きました。前半も後半も目的は同じで、色々な手法から社員の幸福の実現に寄与できる事を知りました。



Weekly Report 【2023年1月18日】

[会長報告]

1. 1月14日（土）地区ローターアクト委員会が名古屋会議室にて開催され、峰澤彰宏地区ローターアクト副委員長が出席されました。お疲れ様でした。

[幹事報告]

1. 次週1月25日（水）例会は岡崎ニューグランドホテルで開催いたします。また、例会後第5回クラブアッセンブリーを開催いたしますので役員・理事・各委員長の方はご出席をお願いいたします。

[委員会報告]

新年夜間例会のお礼と会費お支払いのお願い・・・蜂須賀大親睦活動副委員長

2月1日（水）例会のご案内 会場：岡崎ニューグランドホテル

「卯年放談」当クラブ 峰澤彰宏さん・酒井英二さん・東原健人さん・佐野仁信さん

岡崎ローターアクトクラブのご案内：2月2日（木）社会奉仕委員会